

2019年度 自己評価結果公表シート

学校法人 京新学園
太秦幼稚園

1. 本園の教育目標

「知」・「徳」・「体」・「食」のバランスのとれた保育を教育方針とし、幼児教育を行っている。
「知」・・・知恵、考える力を育てる
「徳」・・・善悪の判断を自分でできる子どもに育てる
「体」・・・健康な体に育て、十分な体力をつけさせる
「食」・・・食に関心をもち、感謝する心を育てる
この精神を基にして、先生や友達と一緒に幼児期に必要な経験を積むことで、人との信頼関係やコミュニケーション能力を育て、意地悪をしない正しい心、人を許せるやさしい心、嘘をつかない強い心、謝ることのできる素直な心を持った心豊かな子どもの育成を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標の具現化を図るため、教職員どうしの意見交換の場を設け、教育の質を高めるとともに、本園の中・長期のビジョンに沿った運営を図る。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
1. 保育の質の向上	<p>① 子どもたちの生活や学習において、いつまでに何が出来るようになっていくのか前年度の到達目標の見直しを行い、それを担任一人ひとりが意識し、学年で足並みを揃えられた。</p> <p>② 虫歯予防デーなどの健康に関する集いや季節の集いについて見直しを図った。全学年で行っていた内容を学年ごとに分けて行うことで、子どもの年齢に応じた内容となり理解も深まり良い学びの時間となった。</p> <p>③ 保育者同士、お互いの保育を見せ合うことにより、より良い保育を目指す機会が持てた。</p>
2. 子育て支援の環境づくり	<p>① 臨床心理士との子育て相談やカウンセリングは、在園児だけでなく、在園児の弟妹や地域の未就園児の方の相談も多く、入園を見据えて利用して頂けた。</p> <p>② 未就園児保育（ことりキッズ）やプレクラスで身支度やトイレトレーニングなどを行う中で、保護者の方の相談にものりながら、安心して入園できるように援助できた。</p>
3. 異年齢児との交流など	<p>① 登園後の外あそびや降園後の外あそびは、異年齢児と関われる時間となっている。延長保育でも異年齢児とかかわりがもてるようなカリキュラムを充実させた。</p>
4. 危機管理・安全管理	<p>① 前年度の「ヒヤリ・ハット」を見直し、遊具や保育室の環境整備について、全職員で共通理解を図れた。</p> <p>② 早朝清掃時に園庭遊具などの環境整備を行い、安全面に配慮した。</p> <p>③ 突然起こる自然災害に対して、園児が自分で考え行動できるように、また、全職員の危機管理意識を高めるためにも、防災学習を経て避難訓練を計画的に実施できた。また、活動中に不意打ちでの避難訓練も実施している。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

行事では、前年度の反省点を改善し、さらに工夫して理解を深め四季折々の行事を行う事ができた。また、カリキュラムでも進め方や内容について見直しを図って計画を立て保育を進めることができていた。職員間では、気づきや思いを素直に伝え合える関係を築けた。よりよい保育を展開できるよう保育の質の向上を図っていききたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
1. 保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理態勢についてマニュアルも学期単位で見直し、作成する。 ・わんぱく教室の内容を精査し、ルールある遊びを提供していく。特に年長児では子ども同士でも遊びを展開していく面白さを味わえるようにしていく。
2. 異年齢児との交流など	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭での自由遊びや延長保育で、教えあいや一緒に過ごす時間を作るようにする。 ・作品展の際には、縦割りグループで保育を実施するため異年齢で関わる機会を多く取り入れていく。思いやる優しい心を育てたり、頼られる嬉しさを感じられるようなカリキュラムを立てる。
3. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・園外に行った際、安全に引率するための方法やポイントを見直す。 ・新しい職員に、園全体での危機管理マニュアルについて説明を行うとともに全職員で共通理解しておく。 ・毎日の早朝清掃と共に安全点検、環境整備を行い子どもたちが安全に過ごせるようにする。 ・新型コロナウイルスに対する文科省からのマニュアルを基に、感染症予防対策を行う。 ・手洗いの仕方やマスクの着用など感染防止について園児にもわかりやすいよう説明し、生活習慣として身に付くように指導していく。
4. 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・未だに園への送迎の際、オートロック施錠での安全確保の徹底が不十分な時がある。手紙やメール配信で注意喚起を行っているが、十分でない。保護者の方や講師の先生方へも、防犯対策への協力の理解を徹底できると良い。 ・課外や延長保育後は園庭を開放していないため、課外の講師から保護者へお知らせし安全面に配慮できるようにする。
5. 子育て支援の環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・在園児の保育に支障のない程度に、未就園児保育の充実や子育て相談を行っていくようにする。
6. 地域の役割を果たすための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育と小学校教育を円滑に接続するため、自分の思いを相手に伝えることが出来るように日々の保育に努めていく。

6. 学校関係者の評価

- ・1～4について年々向上していると見て取れます。来年度も引き続きお願いしたい。
- ・経験豊富な職員と経験年数の浅い職員で構成されており、中堅職員が育休のためいないので、保護者として不安に感じることもある。
- ・多くの職員が、日々努力して頑張っていることは見受けられますが、研修を積み、保育の質をより良くする環境を整えてほしいと思う。
- ・幼稚園で学んだことが小学校の生活に活かされ、スムーズに進学できている印象を受けています。

- ・年長が行っている和太鼓を、下の学年が観る機会を設けているので、年長への憧れや目標を持つことができ、それに向けて頑張る力が養われていると感じています。
- ・経験の豊富な教員と経験年数の浅い教員がありますが、どの教員も園児としっかりと向き合い、良好な関係を築いていっていると感じています。
- ・保護者の様々な不安を伝えると即座に対応してくれるので、それはこの幼稚園を信頼できる要因の一つです。
- ・園長・副園長の保育に対する考えが明確で、尚且つそれが実行されているので、保護者として安心と信頼、更には期待を以て我が子を預けることが出来ています。